

## 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 28 年 11 月 8 日

上場会社名 中央化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 7895

URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 遠藤 勇一 TEL 048-540-2820

四半期報告書提出予定日 平成 28 年 11 月 10 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	29,249	△4.5	152	△77.2	△354	—	△425	—
28 年 3 月期第 2 四半期	30,621	0.9	668	—	444	—	363	—

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 2 四半期 △617 百万円 (—%) 28 年 3 月期第 2 四半期 356 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 2 四半期	△21.12	—
28 年 3 月期第 2 四半期	18.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	45,285	7,885	17.4
28 年 3 月期	44,740	8,502	19.0

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 2 四半期 7,885 百万円 28 年 3 月期 8,502 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
29 年 3 月期	—	0 00	—	—	—
29 年 3 月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	1.0	1,200	50.0	1,000	66.0	700	15.9	34.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	21,040,000株	28年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	891,140株	28年3月期	891,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	20,148,860株	28年3月期2Q	20,148,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行による輸出の伸び悩み、インバウンド消費の減少等がみられたものの、好調な住宅投資等の内需に支えられ引き続き景気はゆるやかな回復基調が続いています。金融政策は、引き続き緩和方針が継続されておりますが、原油価格の低下や円高による輸入物価の低迷等により物価は低水準で推移しており、株価は横ばいの動きとなりました。

一方、食品包装容器市場と極めて関連性の深い食料品販売動向につきましては、百貨店、食品スーパーの売上げが伸び悩み中、コンビニ業態の好調により足もと緩やかな回復傾向にはあるものの、依然として今後の見通しは不透明感が払拭できず回復は緩慢なペースとなっております。また、7～9月における当社の原材料調達価格は、原油価格が若干強含みで推移したものの為替市場の円高傾向と相俟って、ほぼ安定的な価格での推移となりました。

このような環境下、当社国内事業においては、地域営業強化策の一環として、前四半期に実施した東北営業部の移転に続き、8月に広島の中四国営業部を移転しました。新営業部に併設されたキッチンスタジオや展示場を活用し、より一層、地域ユーザーの皆様への提案力強化をはかってまいります。また、厚生労働省発出の食品容器包装における再生プラスチック材料の使用指針及びPETトレイ協議会の自主基準に適合するリサイクルPET製品としての新たな環境配慮型新製品「CHUO A-PET GREEN」（製品名略称C-APG）の供給も開始し、ユーザーならびに一般消費者の皆様における環境意識の高まりに対して、より一層お応え出来る体制を整えました。

一方、中国事業におきましては、経済成長減速傾向等の懸念要素はあるものの、食品容器関連市場は、引き続き堅調な推移を続けております。その状況の下、中国現地メーカーにおいては価格競争力を維持しつつ技術の向上も見られるなか、食品容器関連市場は激戦となっておりますが、安心・安全な弊社グループ製品に対するハイエンド市場からのニーズは依然根強い状況にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、中国人民元安による在外連結子会社の売上高円換算額の減少もあり、売上高は29,249百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益152百万円（前年同期比77.2%減）、経常損益は、為替相場の変動により為替差損402百万円を営業外費用に計上したこともあり経常損失354百万円（前年同期は444百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は425百万円（同363百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び順資産の状況

## (資産)

資産は、受取手形及び売掛金の増加297百万円等により、前連結会計年度末に比べ545百万円増加し45,285百万円となりました。

## (負債)

負債は、未払金の減少255百万円等があった一方、短期借入金の増加1,000百万円や支払手形及び買掛金の増加306百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,162百万円増加し37,400百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失425百万円等により、前連結会計年度末に比べ617百万円減少し7,885百万円となり、自己資本比率は17.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,149百万円となり前連結会計年度末に比べ56百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,432百万円、仕入債務の増加732百万円等があった一方、売上債権の増加623百万円等があり、1,447百万円(前年同期比380百万円の減)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得1,198百万円等があり、1,444百万円(前年同期比997百万円の増)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加1,000百万円等があった一方、リース債務の返済773百万円等により、164百万円(前年同期比1,957百万円の増)の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回(平成28年5月10日公表「平成28年3月期 決算短信」)の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,211	4,155
受取手形及び売掛金	9,229	9,526
商品及び製品	5,482	5,339
仕掛品	716	761
原材料及び貯蔵品	1,257	1,239
繰延税金資産	207	208
その他	2,367	2,740
貸倒引当金	△25	△18
流動資産合計	23,446	23,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,472	6,429
機械装置及び運搬具(純額)	3,629	3,347
土地	4,563	4,563
リース資産(純額)	4,173	4,268
建設仮勘定	552	547
その他(純額)	775	780
有形固定資産合計	20,167	19,937
無形固定資産		
リース資産	50	45
その他	541	837
無形固定資産合計	591	882
投資その他の資産		
投資有価証券	269	242
長期貸付金	181	139
破産更生債権等	41	37
繰延税金資産	82	71
その他	190	226
貸倒引当金	△229	△206
投資その他の資産合計	535	513
固定資産合計	21,294	21,333
資産合計	44,740	45,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,718	11,024
短期借入金	4,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,021	2,062
リース債務	1,378	1,427
未払金	2,601	2,346
未払法人税等	122	82
未払消費税等	76	161
賞与引当金	118	238
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	1,188	1,178
流動負債合計	22,269	23,564
固定負債		
長期借入金	9,175	9,072
リース債務	3,130	3,193
役員退職慰労引当金	34	39
債務保証損失引当金	24	13
退職給付に係る負債	1,381	1,314
資産除去債務	8	8
その他	214	194
固定負債合計	13,968	13,835
負債合計	36,237	37,400
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,142	△2,567
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,688	8,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	35
繰延ヘッジ損益	△26	△26
為替換算調整勘定	696	414
退職給付に係る調整累計額	△895	△801
その他の包括利益累計額合計	△185	△377
純資産合計	8,502	7,885
負債純資産合計	44,740	45,285

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	30,621	29,249
売上原価	23,416	22,243
売上総利益	7,204	7,006
販売費及び一般管理費	6,536	6,854
営業利益	668	152
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	4	4
受取賃貸料	26	24
補助金収入	—	10
その他	70	94
営業外収益合計	108	141
営業外費用		
支払利息	116	118
売上割引	26	25
持分法による投資損失	—	51
為替差損	147	402
その他	40	50
営業外費用合計	331	647
経常利益又は経常損失(△)	444	△354
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	24	—
特別利益合計	24	2
特別損失		
固定資産除売却損	4	6
災害損失	35	26
特別損失合計	39	32
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	429	△384
法人税、住民税及び事業税	70	33
法人税等調整額	△5	7
法人税等合計	65	41
四半期純利益又は四半期純損失(△)	363	△425
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	363	△425



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	363	△425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△4
繰延ヘッジ損益	△11	0
為替換算調整勘定	△80	△281
退職給付に係る調整額	69	94
その他の包括利益合計	△6	△191
四半期包括利益	356	△617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356	△617

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	429	△384
減価償却費	1,408	1,432
持分法による投資損益(△は益)	—	51
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△27
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△10	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	5
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	116	118
為替差損益(△は益)	64	101
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△24	—
有形固定資産除却損	4	6
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△481	△623
たな卸資産の増減額(△は増加)	744	△100
仕入債務の増減額(△は減少)	△156	732
未払消費税等の増減額(△は減少)	△294	91
その他	167	219
小計	1,965	1,623
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△93	△120
法人税等の支払額	△55	△67
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,827	1,447
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△484	△1,198
固定資産の売却による収入	1	2
定期預金の預入による支出	△12	△12
定期預金の払戻による収入	12	12
投資有価証券の取得による支出	△6	△5
投資有価証券の売却による収入	99	—
貸付けによる支出	—	△225
貸付金の回収による収入	—	25
その他	△56	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446	△1,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500	1,000
長期借入れによる収入	150	950
長期借入金の返済による支出	△681	△1,011
リース債務の返済による支出	△761	△773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,793	164
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△455	△56
現金及び現金同等物の期首残高	3,183	4,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,727	4,149

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,682	3,939	30,621	—	30,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	792	841	△841	—
計	26,731	4,731	31,463	△841	30,621
セグメント利益	776	170	947	△279	668

(注) 1. セグメント利益の調整額△279百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,276	2,972	29,249	—	29,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	527	571	△571	—
計	26,320	3,500	29,821	△571	29,249
セグメント利益	341	68	410	△258	152

(注) 1. セグメント利益の調整額△258百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。